

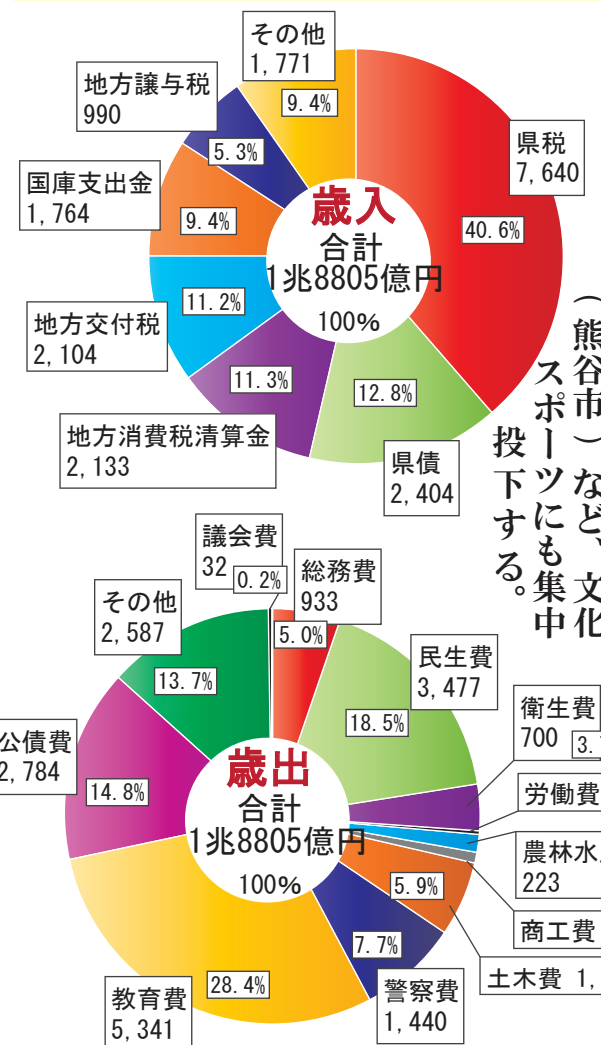
感動県政 あさのめ新聞

埼玉県議会活動報告 2016.04.01 vol. 48

発行 埼玉県議会 民進党・無所属の会 さいたま市浦和区支部 〒330-0043 さいたま市浦和区大東1-11-1-501

平成28(2016)年度埼玉県当初予算成立

一般会計歳入・歳出予算の款別内訳
※数字は概数 単位(億円)



●3月25日、2016年度埼玉県予算が成立した。上田知事は「2025年問題に総合的に取り組む。将来の危機を見据える」と強調。3大重点事業の一つに「シニア革命」を挙げた。(2面)

「人材の開発」では、少子化対策に重点投資、若年世帯が多子世帯向け住宅供給にも意を配した。「稼ぐ力の強化」では、ナノカーボンやロボットのなどの次世代産業育成

のため「先端産業プロジェクト」に18億を投資することになった。●小児医療センターの移築など、さいたま新都心の医療拠点整備(中央区)、順天堂大学医学部付属病院への支援(緑区)など、命を守るための医療強化に巨費を投じる。

●埼玉会館の全面改修(浦和区)、2019年に開催される、ラグビーワールドカップに向けた埼玉会場の改修(熊谷市)など、文化

約52億 埼玉会館の改修



撮影:小川重雄

主な新規・拡大事業

	単位:億円
順天堂大学医学部付属病院などの整備推進	63.10
小児医療センター新病院建設推進	163.96
地域包括ケア推進の在宅医療体制の充実・強化	7.57
先端産業創造プロジェクト	18.42
アクティブシニア活躍支援事業	1.77
私学助成	478.64
埼玉県独自の学力・学習状況調査	2.16
サイバー攻撃に対応する情報セキュリティの強化	1.89
堤防機能強化対策	11.40
エコタウンプロジェクト	2.72
健康長寿プロジェクト	3.96
ウーマノミクスプロジェクト	4.06
ラグビーワールドカップ熊谷ラグビー場などの改修	40.60
インターチェンジアクセス道路整備	22.15

▲埼玉会館は、日本近代建築をリードした前川國男氏(世界三大巨匠の一人、ル・コルビジェの直弟子)の設計により昭和38年に着工、昭和41年に開館。県の代表的な文化施設として利用される。浦和の誇りでもある。完成から50年を経て老朽化が著しい。

前川建築の特徴である外壁打込みタイルなどの特徴を生かし、文化施設としての機能を維持し安心・安全な施設運営を行うため全体改修工事を実施。

ト田県政最大規模1兆8805億円



浅野目義英(あさのめ・よしひで)プロフィール

昭和33年5月27日東京生。山形県米沢市育ち。法政大学社会学部卒。小学校教員を経る。隣接の上尾市で全国最年少の25歳で市議初当選。市議4期(25~41歳)。37歳で全国最年少議長。上尾市長選挙次点敗退。予備校講師、鮎井屋でひたすらマグロを切る仕事、武正公一代議士政策秘書など、政治浪人7年余を経て、平成19年埼玉県議会議員トップで初当選。平成27年埼玉県議会議員トップで3期目当選。平成28年4月、埼玉県議会 民進党・無所属の会 代表に就任する。

発行元・「ご意見をお寄せ下さい」

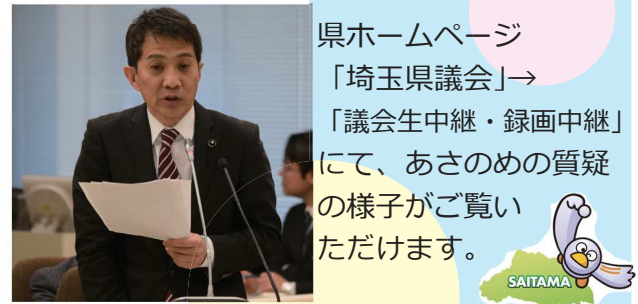
埼玉県議会 民進党・無所属の会 さいたま市浦和区支部(あさのめ事務所)
〒330-0043 さいたま市浦和区大東 1-11-1-501
TEL 048-883-6560 FAX 048-881-0527
e-mail: y-asanome@gikai.pref.saitama.jp
www.asanome.com

私の要求などで平成29年から、埼玉県立高校等の入試改善が実施される。課題があったから、改善される訳だ。いくつかの課題の重要な一つに「英語入試結果が正規分布の形が現れず、ふたこぶになっている」というものがあった。この「ふたこぶ」は、いつごろから認識されていたのか?

教育長 平成22年から確認できる。ただ、以前からあったと推測できる。Q2 試験結果が、正規分布の形で描かれていれば、理論上は山のトップが平均値になる。この形は、子供の学力の平均が

イメージできる。しかし、ふたこぶになると中央周辺に存在する度数が少なく、形は谷間のようになり落ち込む。指導する教員たちは大変な苦労があるのではないのか? 教育長 どこにターゲットを絞るか大変難しい。指導法の工夫が必要だ。Q3 顕在化という認識はあるか? 教育長 ある。Q4 他都府県はないか? 教育長 データはない。似た様なことと思う。Q5 ふたこぶを解消にはどうしたらよいのか? 教育長 つまづきがあるから、この形になっている。指導法の工夫が必要。

Q6 今まで綿密で総合的な調査をせず、中3最後の入試で学力格差の顕在化が確認できるのは、皮肉なことだ。キチンと調査していれば、中学校で打つ手が見えていたのではないのか? 教育長 そのように思う。Q7 平成26年の英語の最初こぶは、11、24点だ。この子たちは可哀想。打つ手はなかったか。未来へのチャンスが失われたはずだ。小5、中2だけの学力学習調査が、今後網羅的に行われる。この活用でふたこぶが解決できるのではないのか? 教育長 分析し、どういう指導法が効果あるかの情報集め、子供たちの学力を伸ばしていきたい。



県ホームページ「埼玉県議会」→「議会生中継・録画中継」にて、あさのめの質疑の様子をご覧いただけます。



もてあそばれる政治 埼玉県議会 誰のものか?

「新たな森」
整備事業止める

みどりの少ない都市部で、新たな森公園を整備する事業。平成25年2月定例会で予算案を可決したが、突然同年9月定例会で、自民県議団が、「重大な瑕疵がある」として、「事業執行の停止を強く求める」と決議案を提出した。これにより、同事業は平成26年12月定例会で解除が決議されるまで、1年3ヶ月ストップした。

小児医療センター
工事ストップさせる

県立小児医療センターをさいたま新都心へ移転させ新病院を整備する事業。平成26年2月定例会で「瑕疵がある」として、予算案に自民県議団が反対。同年4月臨時会で、再度知事が、原案と同額の予算案を提出。自民は、今度は賛成。3週間、建設がストップした。

教育基本計画
空白生じさせる

平成26年度、30年度までの5年間の埼玉教育の基本目標と施策の体系を定めた計画。平成26年2月定例会で「慎重審議が必要である」として、自民県議団が継続審査を求めた。同年6月定例会で、自民が修正案を提出して可決した。約3ヵ月もの間、埼玉県の子どもたちの生きる力を導く同計画の空白が生じてしまった。

土地交換事業
こちらにも呑め

さいたま市が進める大宮駅東口の公共施設再編に協力するた、埼玉県大宮合同庁舎敷地とさいたま市大宮区役所別館敷地を交換する事業。平成26年6月定例会で可決したが、自民県議団が推進する埼玉スタジアムへの新駅先行整備を前提とする地下鉄7号線延伸計画などを引っ張り出し、さいたま市議団に強引に同調を求めた。

知事に答弁させない
全国唯一の県議会

知事選後の県議会は、平成27年9月、12月定例会と開会。「知事としての自民県議団は、本会議場で知事答弁を求めず無視。不毛なバトルを執拗に続けている。平成28年度予算案を審議する予算特別委員会でも自民県議団は知事の答弁機会を極端に減らす要綱改正を4会派の反対押しつけ強行。

知事選が近づく「上田県政を弱体化させ自民候補を優勢に」と左のような党略の混乱が続いた。昨年8月、自民候補は大敗。上田知事は四選を果たす。民意は示されたが自民の怨念は溶解しない。本会議場で質問する自民県議が知事を無視。予算委員会では4会派の抗議のなか要綱を変え知事発言を失わせた。「県議会は誰のものか」「不毛なケンカで県民置き去り」「知事の肉声聞き議論せよ」。県民の不満と疑問が巻き起こる。

自民県議団

上田知事へ不毛なバトル執拗に続く

知事への質問機会を縮小
予特委 要綱を改正
自公賛成 他会派抗議
時流に逆らう「答弁封じ」
県政360ウォッチ
議会では知事を「無視」

▲朝日新聞

平成28(2016)年度埼玉県当初予算成立 超高齢基に立ち向う 「シニア革命」2025年問題への挑戦

新アクティブシニアの活動
(地域活動・就業)の支援

アクティブシニア応援協議会設置、地域デビューを後押しする組織やシニアの相談窓口となるシニア活動ナビゲーターを設置する市町村への助成、シニアボランティア・専門家のボランティアの養成セミナー、カウンセリング、資格・技能の習得、就職まで一体的に支援するセカンドキャリアセンター18カ所の設置・運営

介護人材の確保・定着の推進

潜在介護職員の復職支援(新高齢者等の介護事業所への就労支援、介護未経験者の職場体験・初任者研修受講・就労を支援、新優良介護事業所の認証(新介護ロボット)の導入支援、新任介護職員を対象とした研修及び交流イベント実施、介護のイメージアップ(新介護支援専門員の研修実施機関への経費の一部補助(新非正規雇用労働者等へ介護の職場体験実施)

健康長寿埼玉プロジェクトの推進

「健康長寿埼玉モデル」を実施する市町村に助成(新健康づくりに取り組みきつかけとなるマイレージ制度の構築、健康長寿サポーターを養成する市町村への助成)

糖尿病患者の重病化予防

糖尿病重症化のハイリスク者を抽出し受診推奨・保健指導実施、薬局での糖尿病簡易検査のモデル事業実施

予算 3億4500万円

予算 3億9600万円

予算 15億5900万円

予算 2億700万円



埼玉県の人口と高齢化率(=65歳以上の高齢人口が総人口に占める割合)の推移

